

No.255
2018
3/20



はちおうじ

JR東労組
八王子地本

八
地
車
第
1
6
号

「平成30年3月ダイヤ改正等について」に関する申し入れ その2

3/16
回交

○立川車掌区

組合

武蔵小金井駅乗泊本使用による定刻起床装置が未だ設置されていない事から、直ちに設置すること。

ホームが暗く時計の確認が困難かつ危険なことから、宮ノ平駅下り、二俣尾駅下りの発車予告ベル付近の照明設備を改良すること。

○豊田運輸区

組合

波動臨時列車を運転する場合には、車種・形式・運転取扱方も違うことから安全を最優先するために行路指定時には込み運用としないこと。

ホリデー快速富士山1号・2号運転時に指定席車両拡大に関しては、繁忙期には指定席誘導をしなければならない状態もあり、またご意見も多いことから見直しを図ること。E257系の行先表示、自動放送、号車表示の改修を行うこと。

大月駅併合作業時に停止位置不良が発生した際の取扱いについては、乗務員と駅社員との連携が図られていないことから具体的な取扱いを明確にしたうえで教育を実施すること。

立川駅3・4番線東京方、5・6番線高尾方に男性トイレを増設すること。また、立川駅3・4番線乗務員詰所内の食事スペースと休憩スペースの仕切りを明確にし、次の乗務に備える体制を確保すること。

乗務にかかわるトラブルを回避するために、島式ホームでは自動放送を分離させること。

○甲府運輸区

組合

鳥沢～猿橋間下り第1閉そく信号機の視認性を向上させること。

塩山駅新乗務員宿泊所のレイアウトと工事・運用計画を示すこと。

211系車両の暖房機能については、寒冷地仕様として強化を図ること。

会社

通信の安定性が確保出来ていない。会社として設置に向けて前向きに検討しているが、時期は未定だ。

宮ノ平駅、二俣尾駅いずれもホームの照度は確保されていると認識している。宮ノ平駅のホーム端は暗い認識があり、対策の検討をしている。

会社

現場の管理者に打診してから作成している。いつもと違う車種に乗ることによって、緊張感や刺激が必要。込み運用によって事故・事象が増えるという認識はない。

ホリデー快速富士山1号・2号の乗車率は、ほぼ100%である。着席サービスは重要であると考えている。ダイヤ改正以降、E257系5両へ変更になり、三鷹駅を通過する。号車表示については、手動で設定できるようにした。その他は検討中である。

今回大月駅併合作業時に発生した停止位置不良の取扱いは、正規の取扱いであったと認識している。軌道回路と信号制御の時素によって、安全は担保されている。また、駅社員への必要な教育は行っている。

男性トイレについては、様々な条件を踏まえてどこに設置していくか検討していく。立川駅の乗務員詰所内の仕切りについては、現状で支障をきたすものではないと認識しており、変更の予定はない。

システム改修が必要になる。より良いご案内ができるように支社内は検討している。他支社に関しても、要請していく。

会社

現地立合いを行い中継信号機の設置を検討したが、建築限界の関係で難航している。視認性が悪いことは認識しており、他の場所へ移設など検討している。

次期ダイヤ改正で使用できるように工事を行っている。

暖房強化を試験的に1編成改造したが拡大は行っていない。既存の編成でも劣化したセンサーを交換するなどして、暖房効果が良くなるのか検討していく。